

令和元年度第1回岩国警察署協議会会議録

開催場所		岩国市麻里布町6丁目15番20号 岩国警察署1階会議室
出席者	委員	白井 啓二、杉岡 滋、金平 正美、大黒屋ゆり子、河村 真志、 河本 豊彦、中村 洋子、斎藤 正則、杉山 良彦、新沼 淳志、 平本 登喜子、轟 眞由美 計12名
	警察署	署長、副署長、地域官、刑事官、交通官、会計主幹、警務課長、警察安全相談課長、 留置管理課長、生活安全課長、地域第一課長、地域第二課長、刑事第一課長、 刑事第二課長、交通捜査課長、警備課長 計16名
議題		「G20大阪サミット等の開催に向けた諸対策の推進」について
<p>1 会長挨拶要旨</p> <p>本日は、大変忙しい中、令和元年度第1回岩国警察署協議会に出席していただき御礼を申し上げます。</p> <p>先日来、川崎市における殺傷事件等、痛ましい事件が続いており、大変心を痛めているところである。</p> <p>さて、先日、東京出張した際、ちょうどトランプ大統領が来日中であり、街角の至るところで、警備に従事しているたくさんの警察官を見かけた。</p> <p>都内をバスで移動する際、高速道路は大渋滞で、また、どこで通行禁止の規制がかけられるか分からず、迂回が必要だったため、予定が大幅に遅れ、バスガイドが苦言を呈していたが、それくらい厳重に警備をしていた。</p> <p>大阪もサミットに向け、いろいろと準備しているようであるが、警察の警備体制は素晴らしいものだと実感した。</p> <p>私は、これで任期が最後になり、新しい委員の方に対する委嘱状の交付式があったようだが、6年間、あっという間であり、警察の皆さんの素晴らしい業務を再認識した。</p> <p>今後も警察の皆さんに対し、微力ではあるが協力していきたいと思うので、今後ともよろしく願います。</p> <p>2 署長挨拶 省略</p> <p>3 概況説明（署長）</p> <p>(1) 生活安全課関係 犯罪の起きにくい社会づくりの推進状況</p> <p>(2) 刑事課関係 刑法犯検挙状況</p> <p>(3) 人身安全対策関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ストーカー事案対応状況 ○ DV事案対応状況 ○ 虐待事案対応状況 		

- (4) 交通課関係
- 交通事故発生状況
 - 交通事故抑止対策

4 警察予算（令和元年度）の概要説明（会計主幹）

- 令和元年度の警察予算
「やまぐち維新プラン」の3つの維新のうち、安心して暮らし続けられる山口県の基盤を築くための生活維新に係る重点施策である
 - ・ 犯罪や暴力から県民を守る対策の推進
 - ・ 地域に密着した安全・安心活動の推進
 - ・ 交通事故から県民を守る対策の推進に沿って編成。
- 警察予算の概要
今年度の警察予算は、約379億円で前年比96.6%となっている。今年度予算は、昨年度に比べて約13億円減となっており、この大きな要因は、県営建設事業費が約8億8千万円減となっている。これは山口警察署の建設が終了したものである。
- 重点施策の概要
 - ・ 犯罪や暴力から県民を守る対策の推進～5事業
 - ・ 地域に密着した安全・安心活動の推進～4事業
 - ・ 交通事故から県民を守る対策の推進～3事業今年度は、新規の施策はなく全て継続事業となっている。この中で、交番・駐在所整備事業に当署の由宇交番と麻里布交番の建て替えに伴う経費が計上されている。この事業については、県と警察本部の執行になる。
由宇交番については、昨年度実施設計と交番の解体を行い、今年度建築予定で、新築工事費が計上された。
麻里布交番については、今年度解体設計経費が計上されているが、平成29年度に実施設計を行い、昨年度建築予定であったが、入札不調により予算が今年度に繰り越されており、今年度に再度、入札を行う予定である。

5 諮問事項説明（警備課長、地域第一課長）

以下の項目に沿って諮問事項の説明を行った。

【警備課長】

- (1) テロ対策の脅威
- 過去、サミット等の大規模イベントの開催中や期間前に爆弾テロ事件やサイバー攻撃事案が発生
 - G20大阪サミット～6/28・29、大阪市「インテックス大阪」で開催
- (2) テロ対策の推進
- 官民一体となったテロ対策の推進
 - ・ ホテル、ネットカフェ事業者等に対する不審者発見時の通報依頼等
 - ・ 岩国錦帯橋空港内でのアナウンス及びホームページでの広報文掲出
 - ・ 不特定多数の者が集まる施設、イベント対策
 - テロリスト等の入国を未然に防ぐための水際対策の強化
 - ・ 港湾管理事務所等との埠頭点検
 - ・ 税関、海上保安庁と連携した沿岸（港湾部）の警戒強化
 - 爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事業者等に対する管理者対策
 - ・ 薬局やホームセンター等の事業者への定期訪問による適切な販売指導、不審購入者発見時の通報依頼
 - ・ 学校への適正な管理等の要請
 - 先端技術保有企業等へのサイバーセキュリティ教養

- ・ サイバー攻撃を受けた際の措置や大量破壊兵器製造につながる先端技術情報の流出防止にかかる教養
- 各種広報媒体の活用
 - ・ 市役所屋外モニターを活用したテロ防止広報
 - ・ 幟旗、パトカーへの「テロ警戒実施中」のマグネット貼付等の広報

【地域第一課長】

(1) 実態把握活動

- 巡回連絡、警らによる管内実態の把握
 - ・ 犯罪及び交通等情勢に応じた巡回連絡の実施
 - ・ 意見・要望等の把握
 - ・ 管内実態に即した警ら活動
- 住民の意見要望を反映した警察活動
 - ・ 問題解決活動～不安感の除去や安心感の醸成に向けた活動
- 情報発信
 - ・ 広報紙、交番・駐在所速報による情報発信

(2) 警戒活動をはじめとした警ら活動の強化

- 街頭活動の強化
 - ・ 警察官の姿を見せる活動の強化
 - ・ パトカー等の赤色灯常時点灯
- 自動車警ら隊（警察本部直轄）と連携した警戒活動
 - ・ より多くの目での警戒活動

6 議事

(委員)

テロという特殊な犯罪行為を予防検挙するための特別な教育、訓練、又は情勢の分析等をしている専門部署等があるのか。またテロ対応に関するスペシャリストは山口県警にしているのか。

(警備課長)

警察では、ハイジャック、重要施設占拠事案等の重大テロ事件を鎮圧するため、特殊部隊のSATが全国に約300人、8都道府県警察に配置されている。

山口県警察にSATの設置はないが、近いところで福岡県警と大阪府警に配置されている。山口市仁保にある機動隊には、銃器を使用した事案等が発生した際に、SATが到着するまでの第一次的な対応を行う「銃器対策部隊」や、爆発物使用事案が発生した際に、現場処置に当たる「爆発物処理班」が配置されている。

(委員)

官民一体となったテロ対策の推進とあるが、山口県警から大阪サミットへの応援はあるのか。東京の羽田空港等は、警察官の姿をよく見かけ厳重な警備が日頃から行われているように感じるが、大阪での鉄道各線の警備やJR等との連携は、どのようになっているのか。

(警備課長)

G20大阪サミットでは、開催地を管轄する大阪府警と全国から派遣された特別派遣部隊により、警備が行われる。山口県警からも具体的な人数は申し上げられないが、特別派遣部隊を派遣することとなる。なお、平成28年5月に開催された伊勢志摩サミットでは、全国から派遣された特別派遣部隊約15,000人を含む最大時約23,000人体制で警備に当たった。

大阪府警においても官民一体となったテロ対策を推進している。他府県のことであり、具体的な諸対策までは承知していないが、地元の自治体、民間事業者等とも情報共有を図り、警備諸対策を推進している。

(委員)

先日、東京へ行った際、駅のコインロッカーは全て封鎖されていた。ゴミ箱も封鎖されていたが、空港はそれほどでもなかったが、駅はどこもすごい警備だった。

(委員)

米軍岩国基地内にテロに関わる人物が潜んでいる可能性はあるのか。また、大阪サミットに関して基地憲兵隊等との情報交換はあるのか。

(警備課長)

米軍岩国基地の情報については、詳細を知る立場ではないので、回答は控える。現在も岩国警察署管内にテロリストをさせないために水際対策を推進し、警戒警備を強化している。なお、刑事事件が発生した際は、刑事特別法に基づき、相互に捜査協力を行っている。

(署長)

基地の中にテロ容疑がかかるような人間は、まず入れない。当然、シャットアウトされるし、もしそういう人間が外へ出る場合は、情報提供をされると思うが、これは基地側の考え方次第である。今後、テロを行うような人物が基地内に入る可能性がある場合、あるいは入ったということであれば情報共有しなければならない。

(委員)

私も以前、岩国基地モニターというのをやらせてもらったが、ものすごく厳しい体制で、米軍は自衛隊の方まで疑うくらい厳しいチェックをしているので、多分テロリストはいない。最近では、岩国から東京へ行く際、飛行機から基地内の撮影は一切禁止になっている。

(委員)

大阪サミットを狙ってのテロの発生は、市民生活に大きな影響を与える。サミット関連の警戒広報は、テロを予防するためには大切なことだと思う。道路各所に設置された大型の電光掲示板等にサミット関係やテロ防止に関する注意喚起の広報を表示したらどうか。多くの人の目に止まり効果的ではないか。この電光掲示板は高速道路にも各所に設置してあるので、これを利用してはどうか。

マグネット式の広報ポスターを青色防犯パトロールカーに貼り付け、広報することも効果的ではないか。

顔認証システムによる個人識別の導入が進んでいるが、自爆テロを起こす者は、自らの命を懸けて行っており、テロを起こす前に早く見つける必要がある。そこで、テロを起こす危険性のある人物を早く発見するためには、個人情報が入り込まれたチップを個人がそれぞれ身につけるような時代が来るのではないかと思う。

(警備課長)

マグネットの広報板については、数が限られているので、難しい点ではあるが、以前はフレンドシップデーの際に、バスに貼ってもらった経緯もあるので、今後検討する。

高速道路の電光掲示板のほとんどは、ネクスコ所有のもので、道路事情に関することを表示しなければならないと聞いている。サミットが近くなれば当然、大阪方面に行くときは、テロ対策に関する表示が出てくると思う。岩国警察署からネクスコにお願いすることは馴染まないで、警察本部へ意見として提案したいと思う。

岩国警察署管内においては、市役所屋外大型映像装置を活用したテロ抑止動画を放映する予定がある。

(委員)

オオサンショウウオの生態調査では、40センチ以上のオオサンショウウオの右肩にマイクロチップを入れて調査している。このチップは1ミリの半分くらいの大きさで、注射器で1センチくらい刺して入れる。このチップは1個が1万5,6千円くらいする。アメリカのある州は、試験的に人間にマイクロチップを入れて、衛星でこの人間がどこにいるのか分かるらしい。やがて日本にもこういう時代がやってくるのではないかという話がある。

(署長)

マスコミ報道によれば、中国では、子供の誘拐防止のため、チップの入ったベストを子供に着させているそうである。これについては中国国内でも賛否両論がある。日本ではまず無理であろう。防犯カメラをつけるのにも国が監視しているのではないかと相当の議論になるので、マイクロチップになるとまず無理ではないか。日本の空港では、国際テロを含めて、国際手配のある者に対して、指紋認証等が導入されているので、日本に入って来た場合は、当然、必要な対応を執ることとなる。

(委員)

管内の実態把握の中で、「住民の意見要望を反映した活動」とあるが、具体的に住民からどのように意見、要望が警察に寄せられているのか。

(地域第一課長)

これまで住民の方からは、

- ・ 不審者から声をかけられたので、警らをしてほしい、といった警ら要望に関するもの
- ・ 違反車両が多いので取り締まってほしい、といった交通取締りに関するもの
- ・ 岩国でどのような犯罪が起きているか教えてほしい、といった情報提供に関するもの

などの様々な意見、要望が寄せられており、その都度、対応している。

また、最近では、通津、由宇地区等で熊の出没が相次ぎ、

- ・ 熊への警戒活動を行ってほしい、との要望

があったことから、パトカーによる警戒活動を行っている。

(委員)

人権や個人情報のこともあり問題ではあるが、他県の殺傷事件の発生を考えると今後、犯罪を犯す可能性のある人物の情報を公開することも考えていかなければならない。

(生安課長)

子供に対する安全、安心というのは重要で、川崎のような事件が起こると社会の注目を浴びることとなる。こういうことで緊急対策が叫ばれている。まず地域の皆様にやっていただきたいことで、見守り活動を挙げている。この見守り活動の中で、「ながら見守り」をお願いしている。では「ながら見守り」とは何かというと、これは難しいことではなく、地域の方々が例えば「ジョギングしますよ」、「散歩します」、「水やりをしますよ」という日常生活の中で防犯の視点を持って子供を見守って下さいということと呼びかけている。これは個人だけでなく、事業者にも呼びかけており、日常の事業活動、例えば配達に行く途中に子供の登下校を見守って下さいということをお願いしている。当署管内においても子供に対する声かけ、つきまとい、不審者情報というのは、午後3時から午後6時までが多い。

地域課長から話があったように駐在所、交番の警察官がパトカーに乗って、赤色灯を点灯させて、警らをしたり、少年相談員等のボランティアと連携した見守り、警戒活動をしている。それに合わせて当然、交通事故防止の視点からも活動をしている。管内にも危険箇所というのはたくさんあり、子供が歩くところは全部危険箇所ではないが特に子供が1人で帰ることは心配であるという声が聞かれる。多様な担い手による見守り活動の活性化を図るとともに、子供に対する防犯意識を高めるということで、各学校では防犯訓練等を行っており、「登下校防犯プラン」という対策に基づき、学校と連携を強化しながら、登下校時における総合的な防犯対策を実施して犯罪のない安心な街作りを展開している。

(委員)

岩国米軍基地は、現在、極東最大の米海兵隊の基地となり、テロリストのターゲットとなっている。去年は米朝関係が悪化し、戦争の危機があったが北朝鮮の金正恩は、在日米軍基地にミサイルの方向を向けているというふうにいる。当然、基地周辺には北朝鮮のスパイが暗躍しているんじゃないかとその当時から言われていた。日本には、スパイ防止法等がなく、スパイ天国となり、スパイを厳しく取り締まる法律がない。岩

国のテロ対策は今のままで十分であろうか。昨年、ニュージーランドのクライストチャーチで自動小銃乱射のテロ行為があったが、中・四国にはSATがないということで、自動小銃を使ったテロがあった場合は、防ぎようがない気がする。やはり予算の問題もあるが広島にSATを入れてはどうかと思った。また、テロが発生した場合には、警察だけではなく自衛隊との連携強化も考えないといけない。

(署長)

SATの話については、山口県警にも銃器対策部隊がある。自衛隊との連携については、山口駐屯地と県警とで毎年1回、共同実動訓練を実施している。

(委員)

由宇交番と麻里布交番の新築工事の件であるが、どちらが先になるのか。麻里布交番は設計からのスタートで由宇交番が先にできるのか。由宇交番も仮交番で運用を開始してから6箇月になるが、いつ頃から新交番に変わるのか。

(会計主幹)

由宇交番は、仮交番での運用開始が昨年の11月で、新築工事が今年度の予算で、これは県の方で実施するが、入札の準備期間等があり、いつ頃かというのは分からない。

(署長)

当初の予定では、麻里布交番は今年の3月から運用開始だった。平成29年度に麻里布交番の設計も全て終わって、昨年、入札をかけたが不調に終わった。今年、由宇交番と併行して、再度入札を実施することから、麻里布交番及び由宇交番はいずれも来年の3月頃の運用開始予定であるが、これが不調に終われば来年3月の運用開始が難しくなる。両方とも現時点では不透明な状態である。

(委員)

熊の話が出たが、最近、あちらこちらで熊の目撃情報がある。一体熊は何頭いるのだろうか。先般、熊がミツバチの巣を襲った際、警察の人が素早く対応して、地区の人々に対して、広報活動をしていただいた。一方で行政は地区の防災無線で数日前の情報を広報している。熊は保護鳥獣になっているみたいだが、害獣駆除できないのか。

(署長)

目撃情報から言えば、相当な頭数の熊が生息していると思われるが、具体的に何頭かというのは分からない。猟友会の方に聞くと、今は雄熊が雌熊を探しに森から出てくる場合と、熊が森から何処まで行けるのかを確かめている感じで森から出てきているという話である。猪と違って、熊は保護鳥獣であるので、環境保護団体との兼ね合いもあり、行政の方も難しい立場にある。

(委員)

錦町でも今年は熊の目撃情報が多い。専門家の人が言うには、偶数月と奇数月によって熊の出没回数が違うらしい。それと小熊がいる今頃は一番凶暴になるらしい。小熊には必ず親熊がいるので、小熊を見かけたら絶対に近づかないこと。

(委員)

いろいろと意見を頂いたが、講評として、パトカーの赤色灯を点灯させ、市民から見るとか市民に見せる活動というのと、街中に警察官が立って、市民に見せるということが非常に重要だと思った。やはり、市民はパトカーを見たりするとドキッとす。警察官から何か声をかけられるのではないかと思うことで非常に効果があると思う。委員の話でいろいろな物にマグネットを貼ったり、市の広報板を利用して、市民の方に意識付けをしてもらう「何かある」というのを市民の方に知ってもらうということも大事だと思った。

スパイとかそういったことに対する対応ができていいのかということについて、どちらかという今この山口県に限らず、日本の警察というのは、スパイに対応することはそんなにできていないのではないかと個人的に思っている。

外国人の労働者がどんどん日本に入ってきて、やはり日本的な考え方だけでは対応ができないのではないかと感じた。全ての外国の方が水際でチェックできるとは限らない

し、そういった者に犯罪歴があったり、今から犯罪を起こしたりするような者が入ってくるかもしれない。市民からいろいろな情報をもらい、そういった対応をしていかなければならないことを今回の協議会で再認識した。

7 配付資料

- 岩国警察署協議会資料
- 警察業務説明資料
- 平成31年度警察予算の概要
- 「G20大阪サミット等の開催に向けた諸対策の推進」について